



# 2002年度第3四半期 決算説明会

伊藤忠テクノサイエンス株式会社

2003年2月5日

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。

# 第3四半期決算概況

 常務取締役 経営統括部門長

 野添尚三

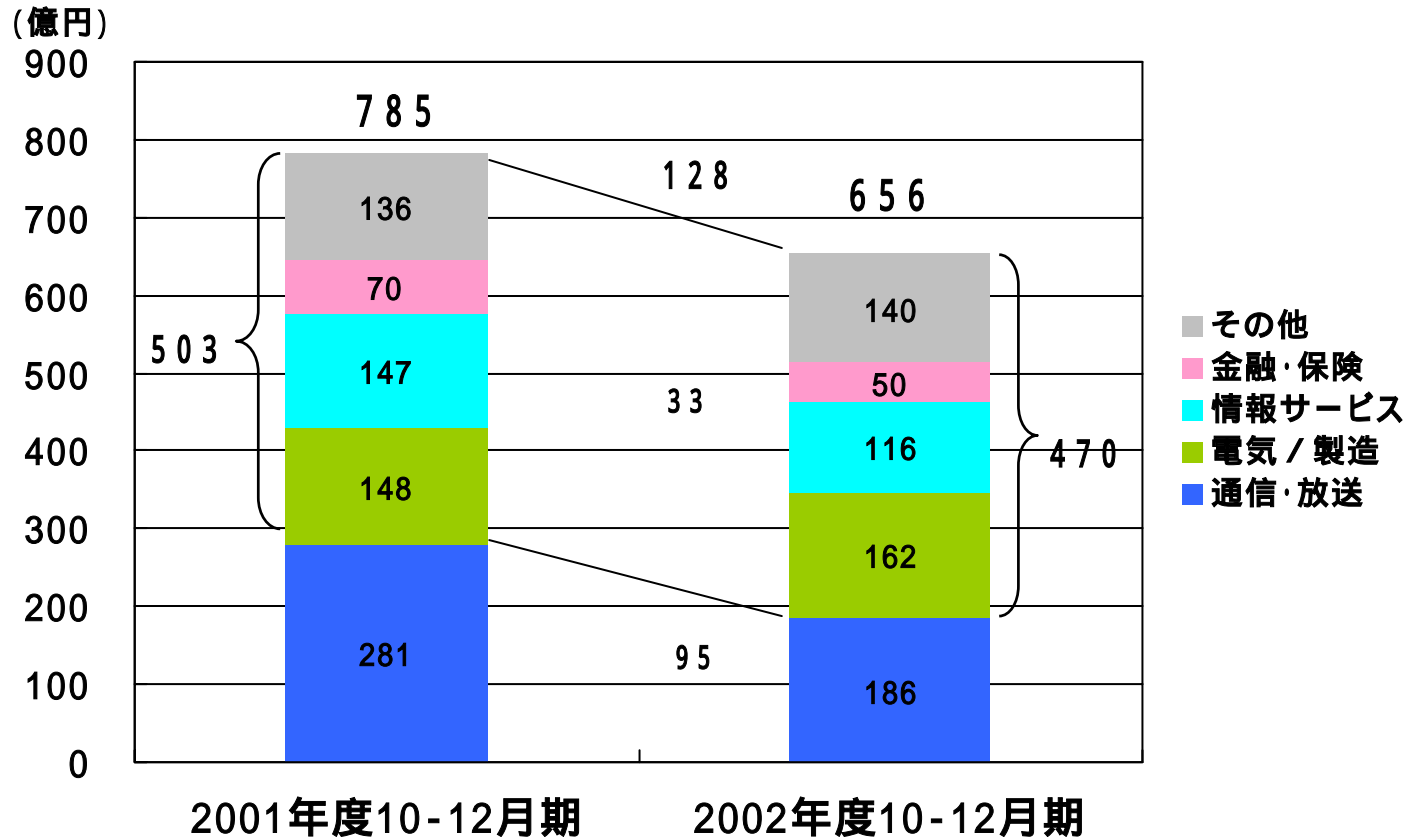
# 連結業績ハイライト

(金額:億円)

	2002年度 10-12月期	構成比	2001年度 10-12月期	構成比	前年同期比
売上高	656	100.0%	785	100.0%	16.4%
売上総利益	150	23.0%	159	20.3%	5.4%
営業利益	59	9.1%	51	6.6%	+14.4%
経常利益	57	8.8%	49	6.3%	+17.7%
当期純利益	31	4.7%	27	3.4%	+15.0%

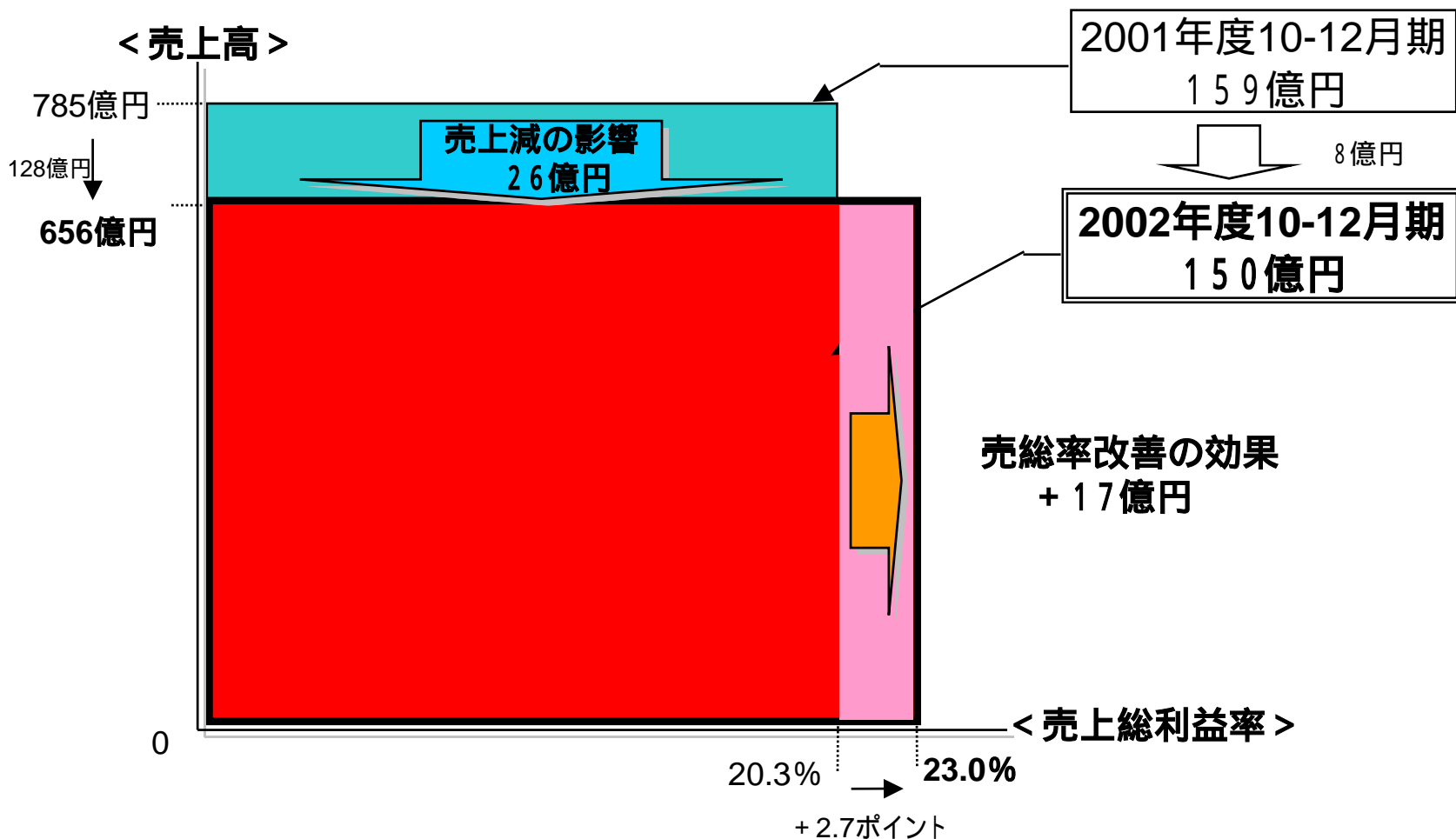
2002年10 - 12月の3ヶ月においては、売上高は前年同期比16.4%減少となりましたが、各利益項目とも利益率が改善したため、当期純利益は前年同期比15.0%増の31億円となりました。

# 業種別売上高



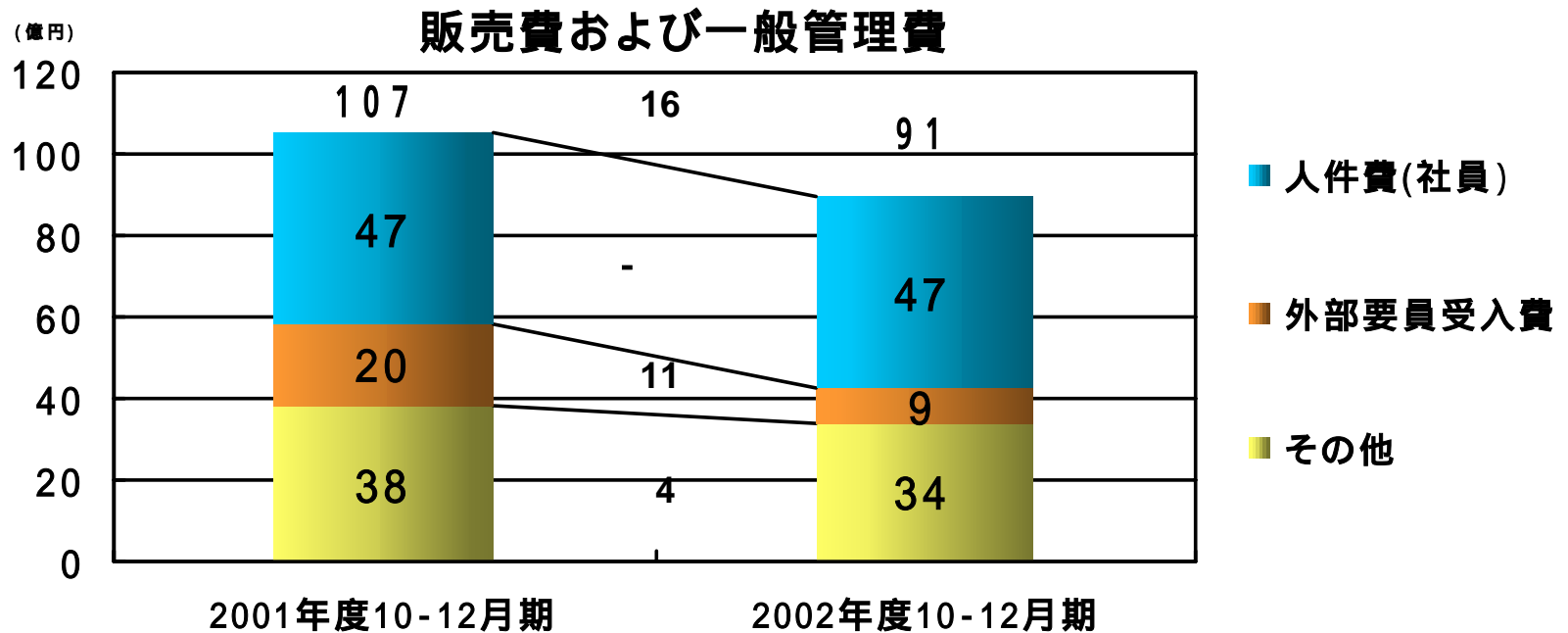
通信・放送： 設備系インフラの投資一巡等もあり、当四半期は前年同期に比べ95億円減少。  
 その他業種： 全般的に厳しい需要推移となったが、一部業種での増収が貢献し、前年同期に比べ33億円の減少に留まる。

# 売上総利益



10 - 12月期の売上総利益は、売上高減少の影響を受けたものの、採算管理の徹底とサポート収益の貢献により売上総利益率が改善したことから、前年同期比 5.4%に留まりました。

# 販売費および一般管理費

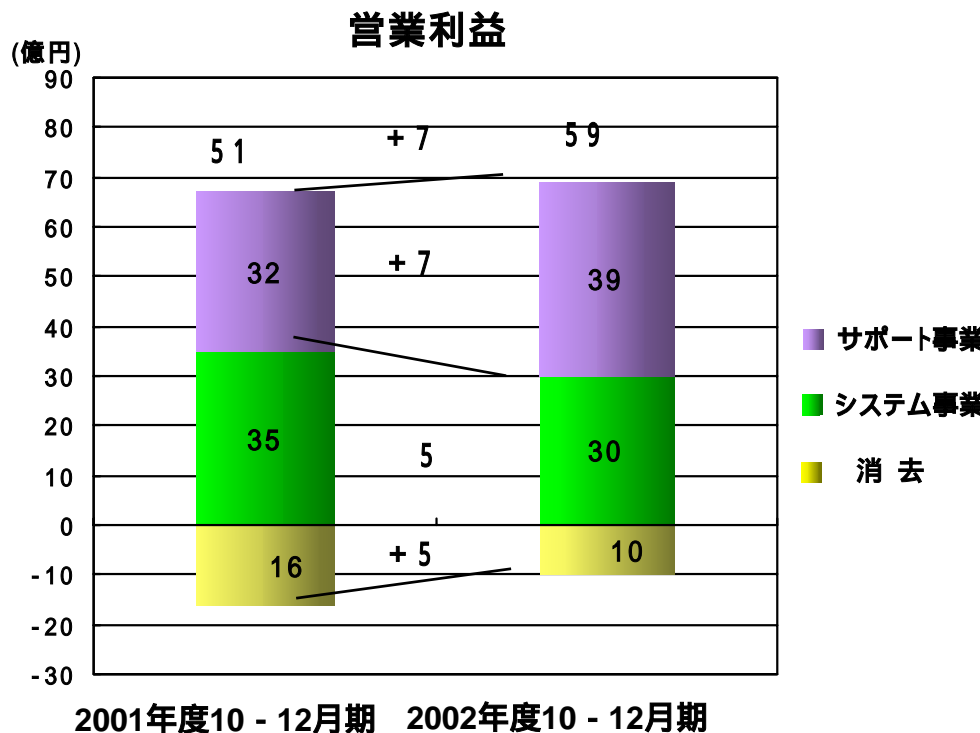
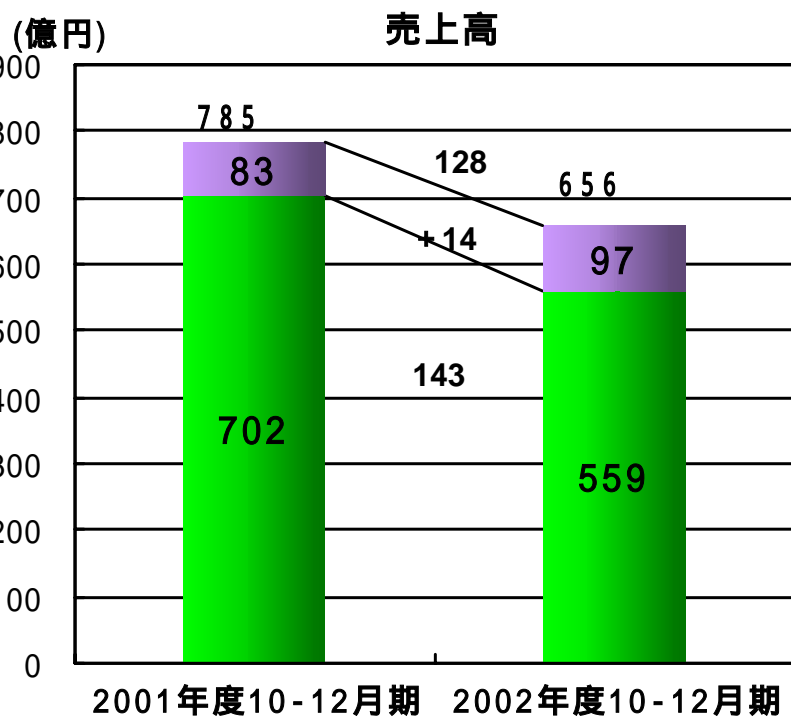


外部要員受入費 11億円減少  
その他 4億円減少



業務効率化による外部要員受入費等の減少及び経費削減により  
販管費は前年同期比 16億円

# セグメント情報



## <システム事業>

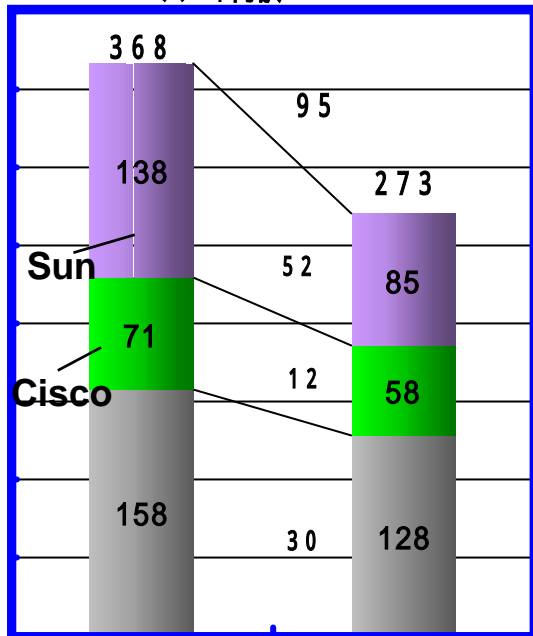
売上高は前年同期比143億円減少。営業利益は30億円(同 5億円)となりました。

## <サポート事業>

過去2年のシステム納入の増加を反映し、売上(前年同期比16.9%増)、営業利益(同22.2%増)ともに堅調に推移しました。

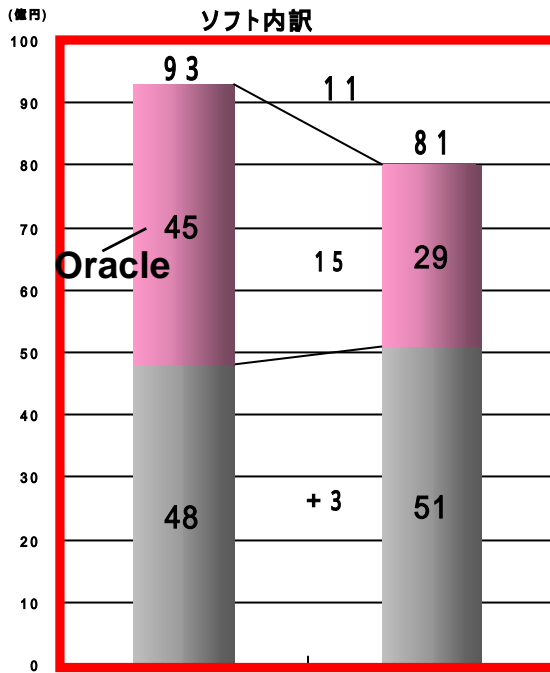
# ハード/ソフト/サービス別売上詳細(単体)

ハード内訳



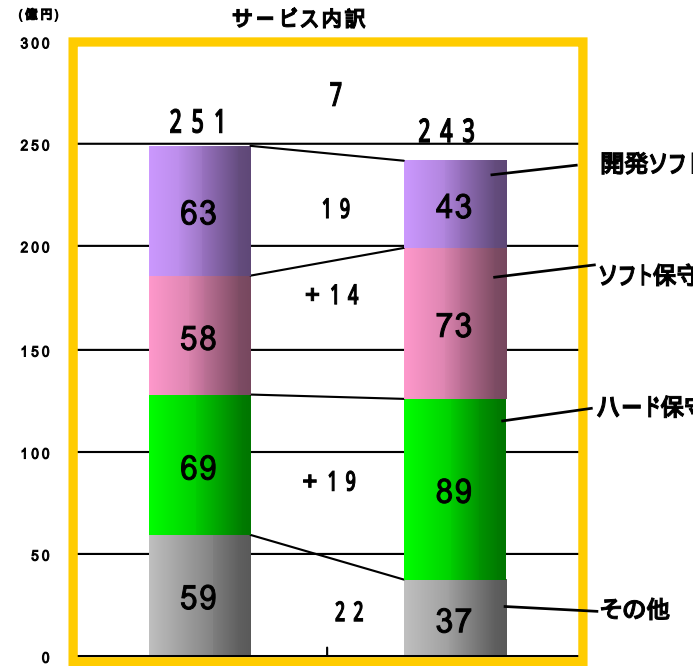
2001年度10-12月期 2002年度10-12月期

ソフト内訳



2001年度10-12月期 2002年度10-12月期

サービス内訳



2001年度10-12月期 2002年度10-12月期

<ハード>

Sun製品売上 前年同期比 38.1%  
Cisco製品売上 前年同期比 17.1%

<ソフト>

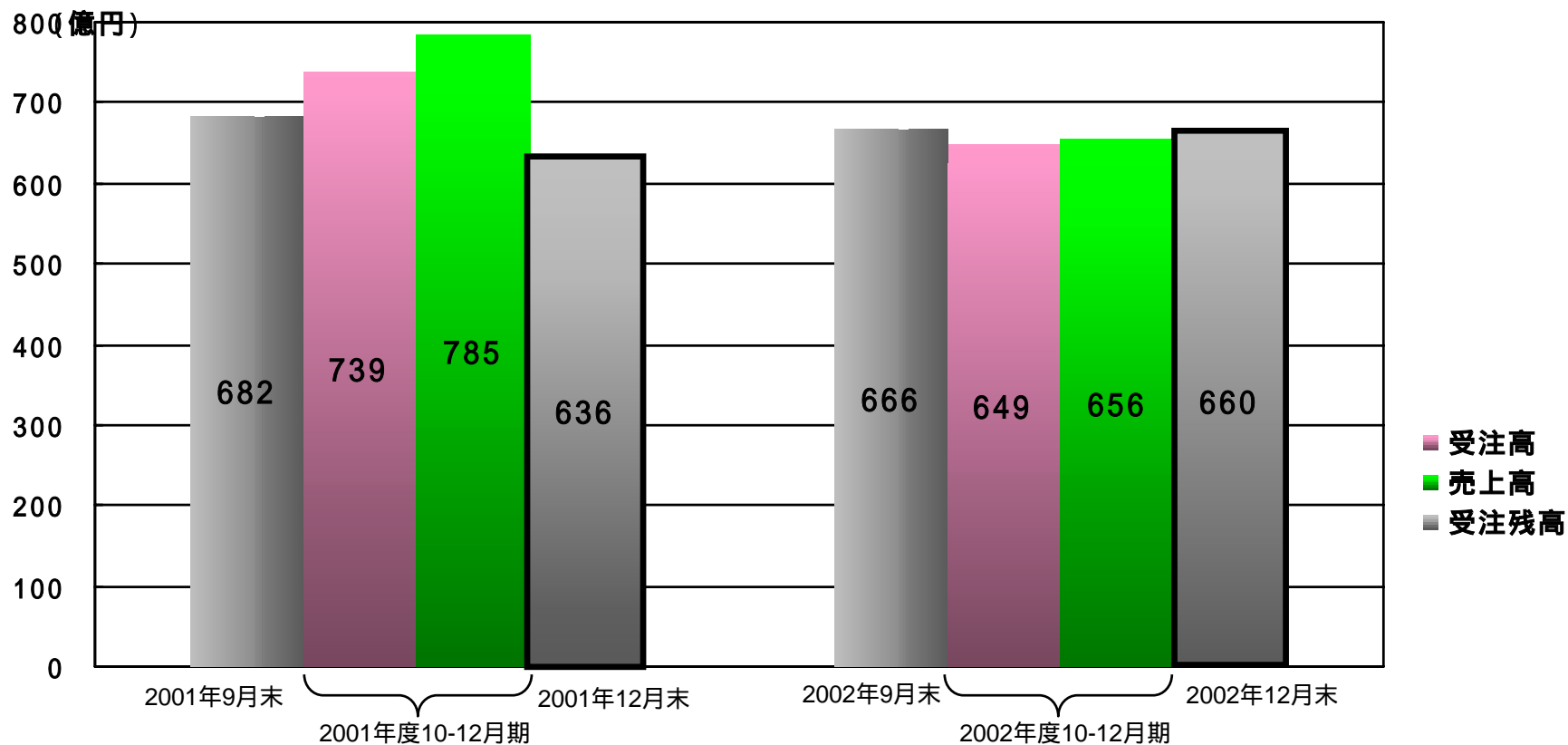
Oracle製品売上 前年同期比 33.5%

<サービス>

ハード保守売上 前年同期比 +28.5%  
ソフト保守売上 前年同期比 +25.6%  
その他売上 前年同期比 37.6%



# 受注および受注残高



2002年度第3四半期の受注高は伸び悩み、前年同期比12.1%減となりましたが、期末受注残高は一部長期案件等により前年同期末を3.7%上回る水準となりました。

# 通期の業績見通し

 執行役員 経営戦略室長

 藁科 至徳

# 通期 連結業績見通し

(金額:億円)

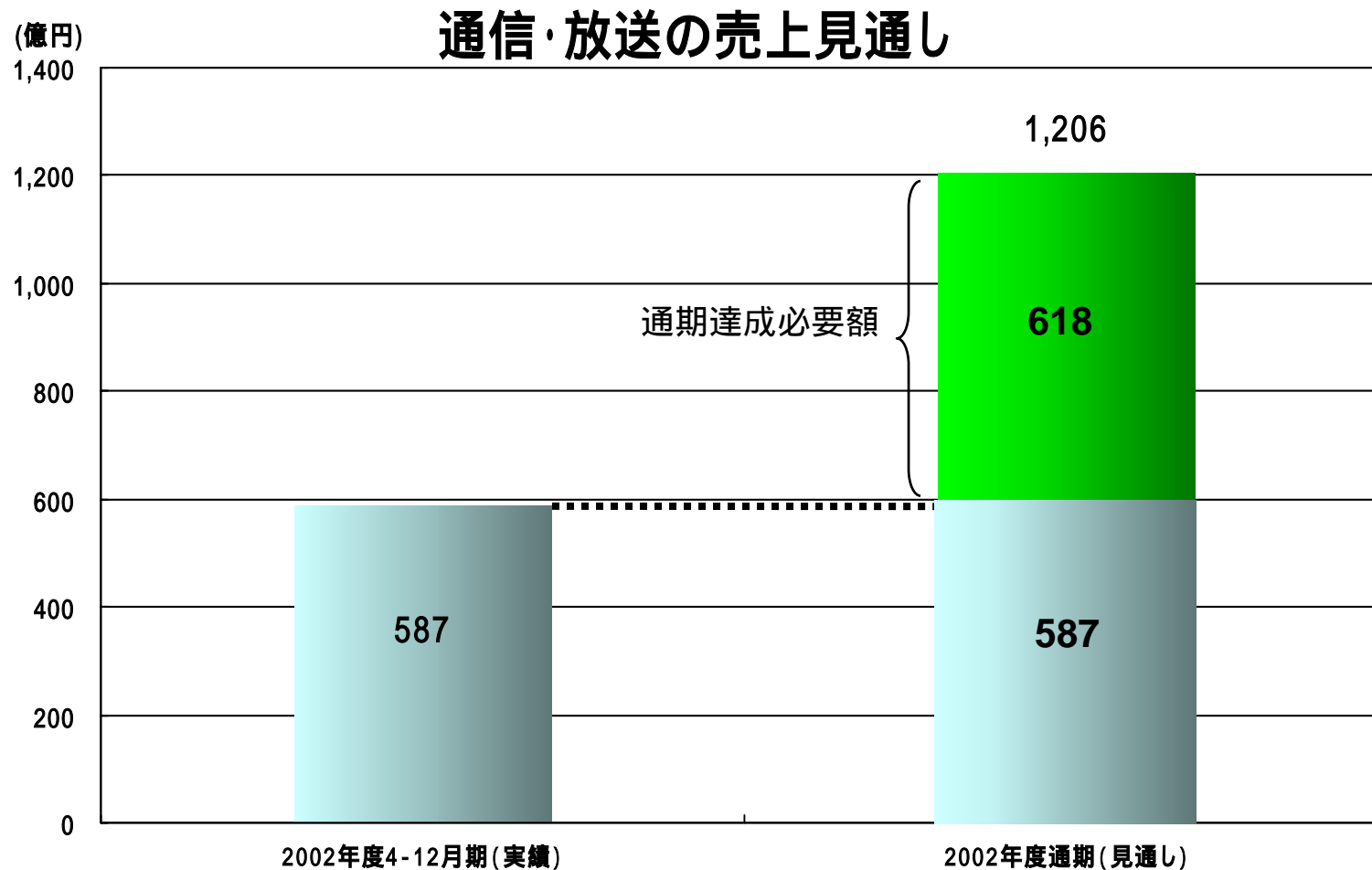
	2002年度4-12月期(実績)		2002年度通期(見通し)		進捗率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	1,894	100.0%	3,231	100.0%	58.6%
売上総利益	399	21.1%	595	18.4%	67.1%
営業利益	99	5.2%	171	5.3%	57.9%
経常利益	91	4.8%	162	5.0%	56.4%
当期純利益	42	2.2%	85	2.6%	50.1%

通期業績については従来の見通しを据え置き、当期純利益85億円を目指してまいります。案件の集中が予想される第4四半期においては、採算管理と経費抑制の徹底を踏まえながら、受注獲得と期中における納入・検収に全力で取り組んでまいります。

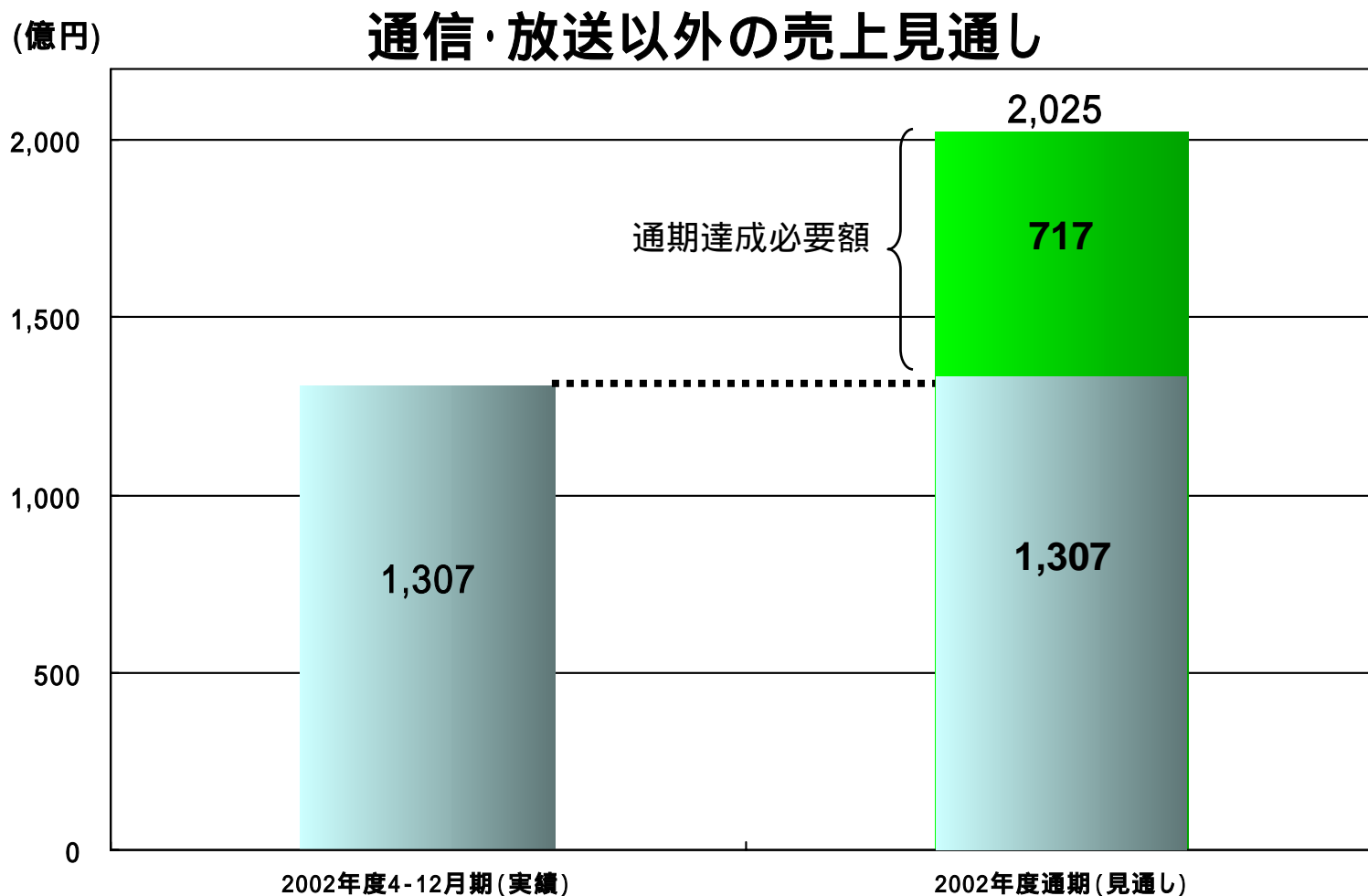
# 2002年度連結売上見通し内訳

	4-12月期(実績)	通 期(見通し)	進捗率
<b>通信・放送</b> <sup>(注)</sup> (構成比) (前年同期比)	587億円 (31.0%) (40.3%)	1,206億円 (37.3%) (12.0%)	48.7%
<b>その他</b> (構成比) (前年同期比)	1,307億円 (69.0%) (9.2%)	2,025億円 (62.7%) (2.8%)	64.6%
<b>合 計</b> (構成比) (前年同期比)	1,894億円 (100.0%) (21.8%)	3,231億円 (100.0%) (6.4%)	58.6%

注:「通信・放送」の売上見通しは、決算短信に記載する業種別売上区分と異なり、主管営業本部の売上見通しの合計で表示しています。また、実績と見通しを正しく対比するために、実績につきましても同様の方法で再算出しております。



# 通信・放送以外の見通し



# 売上総利益率及び販管費について

## 売上総利益率

下記要因により、通期見通しの18.4%を確実に上回る見通しです。

収益重視の徹底(SI案件の採算向上を含む)

サポート収益の下支え

## 販売費及び一般管理費

下記要因により、当第4四半期は前年同期(112億円)を着実に下回る見通しです。

9 - 12月期で経費抑制が定着しつつある

第4四半期で経費の大幅増につながる懸念材料が無い